

1

花咲くモダンデザイン

～大正イマジユリの世界～

令和7年 4/5(土)～6/15(日)

場所：企画展示室 観覧料：600円(常設展含)



イマジユリ「imagerie」とは、イメージ図像を意味するフランス語です。

大衆文化が盛んになり、印刷技術が進歩した大正時代。美しい装幀の書籍や、街で目にする華やかなポスターなど、人々は様々な図像を楽しむようになりました。

本展は大正時代の書籍、雑誌、挿絵等、モダンでかわいいデザインの数々を紹介する四国初開催の巡回展です。絵画作品とは異なり、大量生産され、私たちの身近にあった印刷物の、小さいながらも美しく広がる豊かな世界をお楽しみください。

6/23(月)～6/25(水)まで臨時休館

2

原作出版 80 周年 きかんしゃトーマスの世界展

はたらく機関車たちのおはなし

令和7年 7/5(土)～9/15(月・祝)

場所：企画展示室 観覧料：600円(常設展含)



©2025 Gullane(Thomas)Limited.
©2025 HIT Entertainment Limited.

今から80年前の1945年、イギリスの牧師ウィルバート・オードリーが、息子のために即興で語り聞かせた機関車のお話が元となって『The Railway Series 汽車のえほん』が誕生しました。この一冊の絵本から始まった物語は、「きかんしゃトーマス」として親しまれ、今も世界中の子どもたちに愛され続けています。

本展は「きかんしゃトーマス」のユニークで味わい深い原画の

数々の他、模型やデジタルコンテンツを利用した参加型のコーナーなどを設け、子どもから大人まで、家族みんなで楽しめる展覧会です。この夏、トーマスやゴードン、ジェームスたち、ソドー島の仲間と会いにきませんか？

3

企画展年間案内

短詩型文学 その魅力

令和7年 10/4(土)～令和8年 1/4(日)

(※12/27～1/1は年末年始のため休館)

場所：企画展示室 観覧料：600円(常設展含)



高知の文学は、歌論としての側面を持つ『土佐日記』にはじまり、多様な作家たちによって多くの作品が残され、現在ではSNSに短歌を投稿する岡本真帆さんが人気となっています。

高知の人々はさまざまな句や歌を詠み、楽しんできました。時代は大きく変わったのに、なぜこんなに長い間、句や歌は

人々をひきつけてやまないのでしょうか。

短いから奥深い。俳句や短歌などの短詩型文学を楽しむ展覧会です。

4

怖い文学展

～高知県立文学館×香美市立美術館～

令和8年 1/17(土)～3/22(日)

場所：企画展示室 観覧料：600円(常設展含)



田中貢太郎著『怪奇物語続編』(五七)と『怪談雨夜草紙』(左)

不気味、恐ろしい、心が不安になる――。

見る人を怖い気持ちにさせるのに、なぜか惹きつけられる「怖い絵」展が平成29年に香美市立美術館で開かれ、大きな話題となりました。好評を受け同館では令和8年に第4弾を開催。

本展では、この香美市立美術館の「怖い絵展」とコラボし、和漢の怪異談をこよなく愛した田中貢太郎や馬場孤蝶など、高知の怖いもの好き文学者を絡め、当館ならではの切り口で「怖い」に迫ります。

その他の催し物

※イベントの日時・内容は変更になる場合がありますので、詳細はお問い合わせください。(文学館のホームページでは最新の情報がご覧いただけます。)

◆おはなしキャラバン(毎月第1土曜日 午後2時～約30分)

※参加料：無料

直接会場(こどものぶんがく室)にお越しください。

当館カルチャーサポーターによる土佐民話紙芝居や絵本の読み聞かせを中心にやっています。小さなお子様でも楽しめるクイズや手遊びなども交えながら楽しい時間を過ごせます。



◆語りと紙芝居の会 定例会

(毎月第2土曜日 午後1時30分～)

※参加料：無料 直接会場(ホール)にお越しください。

語りと紙芝居の会のメンバーを中心に、参加者同士が語りや紙芝居の演じ方などを学びます。

(原則毎月第2土曜日の開催ですが、変更になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。)



◆朗読の会 (毎月第3土曜日 午後2時～)

※参加料：無料 直接会場(ホール)にお越しください。

朗読の会本会では、朗読カルチャーサポーターによる顕彰作家や企画展関連の文学作品などを中心とした朗読をお届けします。その他、サークル主体の回、学生回、朗読講座等を開催予定。

(原則毎月第3土曜日の開催ですが、変更になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。)



◆文学マイスター講座

(毎月第4土曜日 午後2時～)4月、8月、12月を除く(予定)

※参加料：無料 事前に申し込みが必要です。

秋の展覧会や常設展企画コーナーの展示に合わせ、「詩歌を学ぶ」がテーマ。短歌や俳句、詩などの文学作品を専門家の講義で深く学ぶ連続講座です。



◆近世土佐文学研究会

(毎週火曜日 午後1時30分～)

※参加料：無料 事前にお問い合わせください。

近世土佐文学資料を中心に、原文で読み、解釈することで、古典に対する理解力や土佐の文学に対する関心を深める研究会です。

(古文書解読レベルは上級。※初めての方は事前申し込みが必要です。)



◆朗読コンクール(地区審査(県内3会場)8月中旬～下旬/県審査11月予定)



今年で28回目を迎える、県内小中学生を対象にしたコンクールです。児童生徒の皆さんによる表現豊かな朗読が披露されます。

※コンクールへの参加申し込みは、学校ごととなります。ふるってご参加ください。

※おはなしキャラバンと朗読の会はそれぞれ出張公演も承ります。

展覧会やイベントについての詳細はお気軽にお問い合わせください。

